

## 第 6 回国立国会図書館契約等監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和元年 5 月 27 日（月）14 時～16 時 国立国会図書館総務課第二会議室	
委員長及び委員	委員長 山本 清（鎌倉女子大学学術研究所教授） 委員 稲垣 隆一（弁護士） 委員 布施 伸枝（公認会計士）	
審議対象契約期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	
指名停止の運用状況	指名停止なし	
抽出案件（件）	5	（備考） 案件総数 260 件
競争入札（工事）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約 件 名： 関西館自動書庫設備整備工事</li> <li>・ 契約 相手方： 株式会社ダイフク</li> <li>・ 契約 金 額： 23,348,023 円</li> <li>・ 契約締結日： 平成 30 年 7 月 27 日</li> <li>・ 担 当 部 局： 関西館総務課</li> </ul>
競争入札（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約 件 名： 業務基盤システムの運用保守 1 式</li> <li>・ 契約 相手方： 株式会社インターネットイニシアティブ</li> <li>・ 契約 金 額： 70,262,640 円</li> <li>・ 契約締結日： 平成 30 年 4 月 2 日</li> <li>・ 担 当 部 局： 総務部会計課</li> </ul>
競争入札（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約 件 名： 情報探索サービスシステムの改修及び保守 1 式</li> <li>・ 契約 相手方： 株式会社ビッグツリーテクノロジー&amp;コンサルティング</li> <li>・ 契約 金 額： 119,880,000 円</li> <li>・ 契約締結日： 平成 30 年 4 月 2 日</li> <li>・ 担 当 部 局： 総務部会計課</li> </ul>
競争入札（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約 件 名： 国立国会図書館サービス基盤情報システム（NDLNET6 及び職員用端末機器等） 1 式の導入等作業</li> <li>・ 契約 相手方： 株式会社インターネットイニシアティブ</li> <li>・ 契約 金 額： 248,356,800 円</li> <li>・ 契約締結日： 平成 30 年 4 月 2 日</li> <li>・ 担 当 部 局： 総務部会計課</li> </ul>
競争入札（物品役務）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約 件 名： 国立国会図書館関西館自動書庫設備の保守</li> <li>・ 契約 相手方： 株式会社ダイフク</li> <li>・ 契約 金 額： 15,784,416 円</li> <li>・ 契約締結日： 平成 30 年 4 月 2 日</li> <li>・ 担 当 部 局： 関西館総務課</li> </ul>
館長指定案件	平成 30 年度一般会計監査報告	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告	なし	

## 別紙

主な意見・質問	回答等
<p>【関西館自動書庫設備整備工事】</p> <p>【国立国会図書館関西館自動書庫設備の保守】</p>	
<p>競争性の有無について検討できているのか。</p>	<p>前年度から引き続き指摘を受けている点であり、当館としても検討レベルを上げて調達方式の在り方を議論していきたい。</p>
<p>【業務基盤システムの運用保守1式】</p> <p>既存業者以外の業者が参加できるような入札説明資料を用意できているのか。</p>	<p>毎月の報告書も提示しており、職員同席でヒアリングにも応じている。</p> <p>ただし、使用しているシステムが特殊で、当館での運用も後1年と限られており、業者にとって新規参入の利点が少ないと推察される。</p>
<p>【情報探索サービスシステムの改修及び保守1式】</p> <p>なぜ一者入札となっているのか。</p>	<p>前年度とは異なる業者が受注しており、他の業者も参加可能と認識している。説明資料自体は複数業者が取りに来ており、不参加の業者に理由等も問い合わせているが、情報は集まっていない。</p>
<p>【国立国会図書館サービス基盤情報システム（NDLNET6 及び職員用端末機器等）1式の導入等作業】</p> <p>技術点と価格点の割合、技術点の配点はどのようにして決めているのか。</p> <p>公正性を高めるためには、技術点の配点のオーソライズ方法についても工夫するとよい。</p>	<p>技術点と価格点の割合についてはガイドラインの範囲に沿って1対1としている。技術点の各項目の配点は、CIO 補佐官の協力を仰ぎつつ当館で決めている。</p>
<p>【平成30年度一般会計監査報告】</p> <p>内部監査であれば、業務改善や業務戦略を目的とする方がよいかもしれない。</p> <p>今後も充実に向けて改善に努められたい。</p>	